

患者さんならびに御家族の方へ

針刺し事故等発生時の血液検査のお願い

診療においては、採血、検査、処置など血液や体液を日常的に扱います。血液や体液には、肝炎ウイルスやエイズウイルスなどが含まれている可能性があります。仮にこれらに感染していても、必ずしも自覚症状や通常の血液検査に異常を認めるわけではありません。

診療の現場では、患者さんに使用した注射針で誤って職員が指などを刺す事故（針刺し事故）が一定の確率で発生します。当院は、全ての職員が常に安全な検査と処置に細心の注意をはらうよう、教育指導を行っておりますが、完全にゼロにすることはできません。このような場合、職員がウイルスなどに感染する可能性があります。

事故発生時には、感染のリスクを評価し、職員への適切な対応が必要です。そのためには、患者さんの感染症に関する最新のデータを確認させていただくことが欠かせません。

以上の理由から、誠に恐縮ですが、職員の針刺し事故等に際しては、患者さんに改めて血液検査をお願いする場合がありますので、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

検査費用は病院が負担させていただきます。

2021年4月

